

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月17日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL http://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 2020年1月24日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年3月21日～2019年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,618	△7.6	△80	—	△53	—	△85	—
2019年3月期第3四半期	3,917	△0.7	287	△48.7	332	△41.4	117	△67.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △89百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 117百万円 (△67.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△10.77	—
2019年3月期第3四半期	14.78	14.70

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	5,470	4,273	78.1	536.63
2019年3月期	5,870	4,550	77.5	571.94

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,273百万円 2019年3月期 4,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年3月21日～2020年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,022	△2.7	△335	—	△305	—	△302	—	△38.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	7,970,400株	2019年3月期	7,962,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	6,403株	2019年3月期	6,403株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	7,960,118株	2019年3月期3Q	7,937,525株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の影響で一時的に落ち込むものの、引き続き設備投資の増加基調が続くなど、底堅い内需により堅調に推移しております。また、海外経済においては、米中の通商問題や香港の条例改正案に対する抗議活動の長期化、米国とイランの対立激化等による地政学的なリスクに一層の留意が必要な状況となっております。

美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、営業方針を「年間販促計画の策定と実行」「カウンセリングの知識・技術の習得」「アフターフォローの習慣化」「顧客分析の徹底と関係性の強化」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しております。

また、社員教育制度の一新、サロンアンサーシステム※注3導入サロンの拡充に努めてまいりました。9月初旬には、スキンケア商品の「AEシリーズ」を「All Enrich」としてリニューアルし、積極的に商品のプロモーション等を行い、成長のための基盤づくりを進めてまいりました。

売上高につきましては、上半期までの売上減少分をカバーするには至らず、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,618百万円(前年同期比7.6%減)となりました。詳細は区分別売上高の概要をご参照ください。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当第3四半期連結会計期間末で7,673軒(前期末比313軒増)となりました。

売上高の減少及び成長のための基盤づくりの取り組み並びに人件費等の一般管理費の増加により利益面では、営業損失80百万円(前年同期は営業利益287百万円)、経常損失53百万円(前年同期は経常利益332百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は85百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益117百万円)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	(%)
スキンケア	1,451	37.0	1,446	40.0	△4	△0.3
ヘアケア	2,160	55.2	1,831	50.6	△329	△15.2
その他	593	15.2	624	17.3	30	5.2
売上割戻金	△288	△7.4	△284	△7.9	4	—
合計	3,917	100.0	3,618	100.0	△298	△7.6

(注) 1. エクシードシステム株式会社(連結子会社)、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の売上高は、「その他」に含んでおります。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	(%)
国内売上高	3,728	95.2	3,435	94.9	△292	△7.9
海外売上高	188	4.8	183	5.1	△5	△3.1
合計	3,917	100.0	3,618	100.0	△298	△7.6

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、当期よりスタートした新キャンペーン制度の浸透に時間を要したことと、変更前制度の期末駆け込み需要の影響がありましたが、「AEシリーズ」をリニューアルした「All Enrich(オールエンリッチ)」は、概ね計画通りに推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,446百万円(前年同期比0.3%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、当期よりスタートした新キャンペーン制度の浸透に時間を要したことと、変更前制度の期末駆け込み需要の影響に加えて、前期リリースした商品の販売が想定よりも伸び悩んだことにより減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,831百万円(前年同期比15.2%減)となりました。

(その他)

サロンアンサーシステムにおきましては、当第3四半期連結会計期間末における契約件数が932件(内、アジュバンサロンへの契約は91件)となり、堅調に推移しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は624百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。

※注3「サロンアンサーシステム」

エクシードシステム株式会社(子会社)が販売する、クラウド型経営サポート(サロンの顧客管理、経営分析)システムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して400百万円減少し、5,470百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して122百万円減少し、2,850百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少216百万円、受取手形及び売掛金の増加132百万円、有価証券の減少100百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して277百万円減少し、2,619百万円となりました。主な変動要因は、売却等による投資有価証券の減少247百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して108百万円減少し、723百万円となりました。主な変動要因は、賞与支給による賞与引当金の減少45百万円、未払法人税等の減少110百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して15百万円減少し、472百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金の減少14百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して276百万円減少し、4,273百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による減少85百万円、配当金の支払による減少190百万円によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間で業績が改善しておりますが、当社製品の販売コンクールである、全国ゼミナールの開催を例年2月に予定しており、販売管理費の増加を見込んでいることから、前回発表(2019年10月18日)の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,386,853	1,170,170
受取手形及び売掛金	612,209	744,995
有価証券	100,000	—
商品及び製品	704,834	690,324
仕掛品	15,694	14,671
原材料及び貯蔵品	40,340	77,344
その他	117,666	157,894
貸倒引当金	△4,676	△5,229
流動資産合計	2,972,922	2,850,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,133,414	1,137,934
土地	720,678	720,678
その他	423,700	456,530
減価償却累計額	△547,789	△627,658
有形固定資産合計	1,730,004	1,687,484
無形固定資産	39,669	45,244
投資その他の資産		
投資有価証券	819,338	571,456
その他	318,309	324,578
貸倒引当金	△9,413	△8,850
投資その他の資産合計	1,128,235	887,184
固定資産合計	2,897,909	2,619,912
資産合計	5,870,832	5,470,085
負債の部		
流動負債		
買掛金	149,350	155,709
1年内返済予定の長期借入金	20,100	20,000
未払法人税等	118,000	7,700
賞与引当金	103,418	58,059
その他	441,767	482,487
流動負債合計	832,636	723,956
固定負債		
長期借入金	17,755	2,780
退職給付に係る負債	40,178	42,381
資産除去債務	15,355	15,304
長期未払金	384,470	384,470
その他	30,335	27,440
固定負債合計	488,095	472,375
負債合計	1,320,731	1,196,332

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	757,730	759,671
資本剰余金	729,434	731,374
利益剰余金	3,067,591	2,790,948
自己株式	△5,833	△5,833
株主資本合計	4,548,922	4,276,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△802	△2,856
為替換算調整勘定	1,979	448
その他の包括利益累計額合計	1,177	△2,407
純資産合計	4,550,100	4,273,752
負債純資産合計	5,870,832	5,470,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)
売上高	3,917,146	3,618,542
売上原価	1,514,487	1,475,772
売上総利益	2,402,658	2,142,770
販売費及び一般管理費	2,114,980	2,223,393
営業利益又は営業損失(△)	287,677	△80,622
営業外収益		
受取利息	4,923	1,954
受取配当金	467	22,663
受取家賃	4,930	1,350
保険返戻金	24,973	—
為替差益	3,139	—
雑収入	6,889	2,568
営業外収益合計	45,323	28,537
営業外費用		
支払利息	155	160
為替差損	—	775
雑損失	125	2
営業外費用合計	280	938
経常利益又は経常損失(△)	332,720	△53,024
特別利益		
固定資産売却益	1,018	—
投資有価証券売却益	200	—
特別利益合計	1,218	—
特別損失		
固定資産売却損	1,981	—
固定資産除却損	8,758	2,811
減損損失	47,297	—
特別損失合計	58,037	2,811
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	275,901	△55,835
法人税、住民税及び事業税	150,741	21,551
法人税等調整額	7,820	8,321
法人税等合計	158,561	29,872
四半期純利益又は四半期純損失(△)	117,339	△85,708
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	117,339	△85,708

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	117,339	△85,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	△2,053
為替換算調整勘定	39	△1,531
その他の包括利益合計	172	△3,585
四半期包括利益	117,511	△89,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,511	△89,293
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。